

2015年度に本学との協定校である高雄師範大学（台湾）に1年間交換留学していた森本真央さんに留学体験記を書いてもらいました。

台湾高雄で過ごした1年間

英語教育コース 4年 森本真央

私は2015年2月から2016年2月までの1年間、台湾にある高雄師範大学に留学していました。私はかねてより中国文化や中国語に興味があり、大学での第2言語も中国語を履修していました。そして今回の台湾留学の決め手になったのが2013年に参加した台湾語学研修です。この2週間の語学研修で台湾人の温かさや台湾文化の魅力に圧倒され、いつしかこの国で生活してみたいなあと強く思うようになりました。

留学先では平日の午前は大学内の語学学校で中国語を勉強し、午後は文学部英文科の授業に加え、現地の大学生と中国語と日本語の言語交換をするなど充実した日々を送りました。日本にいたときは話す機会がなかった中国語でしたが、現地では中国語しか話さない日もあって中国語の学習に没頭することができ、とても有意義に留学生活を過ごすことができました。

台湾の街は日本語があふれており、外国に来たとは思えな



語学学校のクラスメイトとランチ
(左から4番目が森本さん)

三重大学教育学部 国際交流ニューズレター No. 27

2016(平成28)年6月8日発行

International Programs Newsletter No. 27

いぐらい台湾は日本文化の影響を受けた国です。そういった背景もあり、台湾には日本や日本文化が好きの人がたくさんいました。私がこの留学で一番印象に残っているのは台湾人の優しさや温かさです。街中で台湾人に「日本人ですか?」と日本語で話しかけられることは本当によくあることで、その度に台湾人の日本に対する好意を感じました。台湾での日々はいつも素晴らしい出会いに彩られており、この国で留学することができたのは本当に幸運だったと思います。

留学先では台湾人、その他にも多くの国の人たちと友人になることができました。台湾で得た友人たちは何にも代えがたい宝物です。日本を離れ、異国の地で生活するのは心細く、挫けそうになることもありましたが。今回の留学は、家族の支えや周りの方のアドバイスがあっただけでこそ成し遂げられたのだと思います。この留学で得られた語学力と自信を活かしてこれからの人生で役立てていきたいと思っています。



高雄旗山での遠足

第11回天津師範大学短期語学研修&文化交流が2016年3月7日-15日に実施されました。参加学生のリーダーを務めた杉本和希さんに感想を書いてもらいました。

第11回天津師範大学語学・文化研修に参加して

社会科教育コース 4年 杉本和希

3月7日から14日間、教育学部の学生14名、院生1名の計15名が天津師範大学の研修に参加させていただきました。私は東洋史を専攻しており、中国の地でその歴史や文化を学びたいと思い、参加しました。

日本では中国の大気汚染がしばしば報道されており、大気汚染を憂慮する参加者が大勢いました。しかし幸いにも大気汚染はほとんど気にならず、気候にも恵まれました。そのおかげもあってか、濃密な14日を過ごすことができました。私が特に印象に残っていることは北京の夜に鑑賞した京劇です。



天津師範大学新キャンパスにて

分からない部分があったものの、おもしろい場面も多くあり、楽しく鑑賞できました。念願だった京劇をみられたことは、一生の思い出になりました。また、書道体験も大変印象的でした。中国の書道の考えは、日本のそれとは異なる部分があり、新鮮でした。できるだけ小さく、そして全体のバランスを意識して字を書きました。

今回の研修を通して、自分の知っている当たり前が当たり前ではないことを知りました。水道水を口にできないことやトイレットペーパーをトイレに流せないなど、日本では考えられないことであり、不便に感じました。とりわけ衝撃だったのは、歩行者が平然と信号無視をしていたことです。大通りを自動車の合間をぬって横断する中国人の姿にはカルチャーショックを感じました。日本に帰国して、普段当たり前で享受している便利な生活に感謝する気持ちが芽生えました。

今回の研修では素晴らしい仲間に出会い、貴重な体験もさせていただきました。また中国人の友達ができるなど、国を超えた交流はますます中国のことを好きにさせてくれました。最後になりましたが、三重大学の引率の先生をはじめ天津師範大学の先生、その他研修に携わってくださった方々、本当にありがとうございました。謝謝!